

高規格救急自動車
仕 様 書

令和 7 年度

草 加 八 潮 消 防 組 合

目 次

第 1	総 則	・ ・ ・ ・ ・	1
第 2	提出図書	・ ・ ・ ・ ・	2
第 3	中間検査・完了検査	・ ・ ・ ・ ・	2
第 4	仕 様	・ ・ ・ ・ ・	3
第 5	積載物品	・ ・ ・ ・ ・	6
第 6	艀 装	・ ・ ・ ・ ・	6
第 7	移設等	・ ・ ・ ・ ・	12
第 8	その他	・ ・ ・ ・ ・	12

第1 総則

1 件 名

高規格救急自動車（2台）購入

2 数 量（高規格救急自動車購入台数）

2台

3 納 期

令和8年3月27日（金）

4 納入場所

草加八潮消防組合の指定する場所

5 支払方法

業務完了一括払

6 この仕様書は、草加八潮消防組合（以下「組合」という。）が令和7年度に購入する高規格救急自動車（以下「本車両」という。）及び本車両に備える積載品等に関する必要な事項を定める。

7 本車両は、次の関係法令等に適合すること。

- (1) 道路交通法施行令（昭和35年政令第270号）
- (2) 道路交通法施行規則（昭和35年総理府令第60号）
- (3) 道路運送車両法（昭和26年法律第185号）
- (4) 道路運送車両の保安基準（昭和26年運輸省令第67号）
- (5) 埼玉県道路交通法施行細則（昭和41年4月6日公安委員会規則第2号）
- (6) 救急業務実施基準（昭和39年自消甲教発第6号通知）第10条
- (7) 医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律（昭和35年法律第145号）
- (8) 救急自動車に備えるサイレンの音色の変更について（昭和45年消防第337号通知）
- (9) 電波法（昭和25年法律第131号）
- (10) 無線設備規則（昭和25年電波監理委員会規則第18号）
- (11) その他関係法令

8 本車両の各部の構造、装置は堅牢で耐久性を有し、資機材が走行中の振動等により移動又は破損を生じないように安全確実に固定ができ、かつ容易に積載ができるようにすること。

9 別表については、1台分の個（式）数の表記であるため、購入台数を乗じた個（式）数にて納入すること。

ただし、第7移設等1移設機器(3)現行急行支援システム（FAST）については、1台分とする。

10 本仕様書に関する取付品及び艀装の位置及び構造に関しては、事前に組合と協議の

上承認を得ること。また、本仕様書に関する疑義及び納品物品等に変更が生じた場合も同様とする。

- 11 本仕様書に明記されていない点は、メーカー公表の基準仕様書のとおりとする。
- 12 本仕様書に示している物品については新品とすること。（移設物品を除く。）
- 13 本仕様書に係る不履行が発生することが明らかになった場合には、速やかに不履行の事実に係る報告書を提出するとともに、以後の対応について組合と協議の上、組合の指示に従うこと。
- 14 契約価格には、完成車の登録手続、車庫証明手続、回送等納車完了までを含めること。ただし、自動車損害賠償保険（２４か月）、自動車重量税、リサイクル料は、発注者の負担とする。
- 15 中間検査実施前に艤装設計図にて組合の承認を受けること。

第２ 提出図書

- 1 契約完了後、落札価格の内訳明細書を提出すること。
- 2 購入に先立ち、次の図書を提出し承認を得ること。

(1) 製造工程表	２部
(2) 車両五面図	２部
(3) 電気系統配線図	２部
(4) その他指定する書類	指定数

- 3 完成車両納入時、次の図書を提出すること。

(1) 車両五面図	１部
(2) 車両及び資器材取扱説明書	１部
(3) パーツリスト	１部
(4) 緊急自動車届出確認証	１部
(5) リサイクル券	１部
(6) 自動車検査証	１部
(7) 自動車損害賠償責任保険証明書	１部
(8) 車両製造行程の詳細写真	１部
(9) 完成写真	１部
(10) 納品書	１部
(11) その他指定する書類	指定数

第３ 中間検査・完了検査

- 1 検査は、中間検査及び完了検査とする。検査を受けようとするときは、１５日前までに組合へ申請し承認を得ること。

なお、中間検査実施において指示事項が生じた場合は、指示事項に伴う変更事項等

を明記した報告書を提出すること。

- 2 納入時において、本仕様書に基づく完了検査を実施し、その結果不合格と認めた箇所については、直ちに改修し、再検査を受けなければならない。
- 3 本車両の燃料は、タンクの限度まで入れて納入すること。

第4 仕様

1 主要諸元

(1) 寸法

全 長	5, 7 0 0 mm以下	全 幅	1, 9 0 0 mm以下
全 高	2, 5 1 0 mm以下	患 者 室 長	3, 5 5 0 mm以上
患 者 室 幅	1, 7 0 0 mm以上	室 内 高	1, 8 0 0 mm以上
最低地上高	1 5 0 mm以上1 6 0 mm以下		
ホイールベース	3, 2 0 0 mm以下		

(2) エンジン

型 式 水冷4サイクルガソリンエンジン（無鉛レギュラーガソリン仕様）
排 気 量 2, 6 0 0 cc 以上
最大出力 1 1 0 kW（1 5 0 P S）／r . p . m以上

(3) 動力伝達装置

6速オートマチックトランスミッション

(4) 安全装置

A B S 装置及び運転席・助手席 S R S エアバッグ付き
高度道路交通システム（I T S）
衝突被害軽減ブレーキ
車線逸脱警報装置

(5) 駆動方式

フルタイム4輪駆動式

(6) 最小回転半径

6 . 1 m以下

(7) バッテリ

1 2 0 A h 以上

(8) オルタネーター

1 4 0 A 以上

(9) 乗員定員

7 名以上

2 車両取付品及び付属品

車両本体取付品及び付属品は、メーカー標準の他、次のとおりとし、取り付けを必

要とするものについては、取り付けた状態で納入すること。

なお、仕様内容は別表詳細No.2によるものとする。

- (1) デジタルインナーミラーを取り付けること。
- (2) ラジオ及びデジタル時計を取り付けること。
- (3) 助手席用インナーミラーを取り付けること。
- (4) フロントアンダーミラーと助手席アウトサイドミラーを取り付けること。
- (5) 大型のフロントドアサイドバイザーを取り付けること。
- (6) ラジアルタイヤ（スペアタイヤ含む）を取り付けること。
- (7) 電流計及び電圧計（照明付き）を容易に確認できる位置に取り付けること。
- (8) 半ドア警告灯（全ドア）を取り付けること。
- (9) 半ドア防止装置（サイドドア及びバックドア）を取り付けること。
- (10) C型フックを前席に3か所取り付けること。また、患者室にホース・配線コード等を有効に保持するためのC型フック等を取り付けること。

なお、取付個数は組合と協議すること。

- (11) ヘッドライトはLEDとし、自動角度調整機能及びオートマチックハイビーム機能を有するものであること。
- (12) LED後輪照明灯を取り付けること。なお、スモールライトと連動し、かつ専用スイッチを有するものであること。
- (13) 左右ルーフサイドにLED作業灯（補助赤色警光灯付き）を取り付けること。
なお、それぞれ独立した専用スイッチを有すること。
- (14) 車両外部右側面に救助工具の収納庫を設け、中に万能オノ、バール、シートベルトカッター、ガラスカッター、ボルトクリッパー（固定用器具付き）を取り付けること。
- (15) 消防章（φ150mm）をフロントグリル上部の進行方向に正対し、かつ垂直に取り付けること。ただし、樹脂製消防章を取り付ける場合は、マーク状の補強を設けること。
- (16) 排気管は、車両右側タイヤ後方からの排気とすること。
- (17) リアワイパー及び熱線式デフォグガーを取り付けること。
- (18) バックドア開口部左側グリップ及び左側下部グリップを取り付けること。
- (19) 患者室に100V、300W以上のインバーターを取り付けること。

なお、エンジン稼働時、車内設置の各コンセントに電力を供給できるものとする。

- (20) 外部入力マグネット式コンセントを車両後部に取り付け、外部商用AC100V電源により、エンジン停止中の救急車内の患者室蛍光灯、各AC100Vコンセント及びDC12Vコンセントに電源供給ができること。

なお、外部電源入力時には、エンジン始動ができないものとする。

- (21) 患者室に100Vコンセント（壁面取付けは蓋付き）を8口（患者室右前壁面2口、患者室右側面4口、患者室右後壁面2口）取り付けること。
- (22) 前席に100Vコンセントを2口、AVM用電源端子を1口取り付けること。
- (23) 前席に12V用コンセント（シガライター型コンセント）を1口取り付けること。
- (24) 患者室にUSB電源ポートを2口取り付けること。
- (25) 盗難防止装置を取り付けること。
- (26) 前席及び患者室前向き座席には、ELR3点式シートベルト及びヘッドレストを取り付けるとともに、患者室横向き及び後向き座席には、2点式シートベルトを取り付けること。
- (27) 助手席上方部にLEDランプを取り付けること。
- (28) 運転席のドア上方部に拡声用フレキシブルマイクを取り付けること。
- (29) サイドフラッシュランプを取り付けること。
- (30) 左右フロントドア下部ステップ及び立ち上がり面には、アルミ縞板（滑り止め付き）を取り付けること。
- (31) サイドドアのステップ面にはアルミ縞板（滑り止め付き）及び立ち上がり面にアルミ筋板を取り付けるとともに、ドア開閉に連動したステップ専用ランプを取り付けること。
- (32) リアバンパー乗降用ステップ兼用アルミ縞板製（滑り止め付き）を取り付けること。
- (33) 運転席と助手席の間に、木製の書類入れ（A3サイズ蓋付き）を取り付けること。
- (34) 運転席と助手席上方部にグローブボックス等が固定できる構造とするとともに、ネット式の小物入れを2か所取り付けること。
- (35) 助手席後部にパーティションを取り付けること。
- (36) 各作動スイッチ等には、その名称を記したプレート等を取り付けること。
- (37) 患者室天井部にネット式の副子入れを3か所以上取り付けること。ただし、大きさについては、組合と協議し決定すること。
- (38) 艀装の各種電気配線等の電源は、ヒューズボックスをインバーター収納庫付近に設置し配線するとともに、ボックスカバー内部にその用途及び容量を明記すること。
- (39) 患者室に温度計及び湿度計を取り付けること。
- (40) 患者室にデジタル式電波時計を取り付けること。
- (41) 患者室内に冷温蔵庫を取り付け、電源を供給できるようにすること。
- (42) フロントドアにドアエッジモールを取り付けること。
- (43) 左右フロントフェンダー部に滑り止めを取り付けること。
- (44) スタッドレスタイヤ（4本ホイール付き）を納品すること。
- (45) メインキー（ワイヤレスドアロックリモートコントロール）3本、スペアキーを3本納品すること。

- (46) ヘッドライト及び患者室蛍光灯を除き予備球、予備ヒューズを各10個積載すること。
- (47) 運転席及び助手席用フロアマットを取り付けること。
- (48) ステンレス製旗立てを取り付けること。
- (49) 救命浮環を納品すること。
- (50) フロントバンパー左右にコーナーセンサーを取り付けること。
- (51) リアクーラーの空気吸入口にエアフィルターを取り付けること。
- (52) ステアリング連動ガイド線付きバックガイドモニターを取り付けること。
- (53) ナビゲーションシステム（SD方式及び地上デジタルフルセグ対応TVチューナー搭載とし、モニターは、車両を全周囲監視できる装置及びバックガイドモニター装置と連動するもの）を取り付けること。
なお、走行時に画面を操作できるようにすること。
- (54) 患者室にホワイトボード（A3サイズ）を取り付けること。
なお、ホワイトボードは、マグネット対応型とすること。黒ペン2本（ラーフル付き）、ペン立て付きとすること。
- (55) 患者室にグローブボックスが固定できるベルトを4か所取り付けること。また2か所はマグネット式とし、任意の場所で使用できる構造とすること。
- (56) 患者室に、車両固定式のウォール型アネロイド血圧計（カフ・マンシェット含む）を取り付けること。
- (57) ドライブレコーダーを取り付けること。
- (58) ナイロン製4トン用牽引ロープを納品すること。
- (59) 樹脂製のタイヤストッパーを1組納品すること。
- (60) 交通誘導灯（LED点灯・点滅式、乾電池式）を納品すること。

第5 積載物品

1 傷病者搬送

- (1) メインストレッチャーは、高さ調節及び4輪操舵が可能であること。また、仰臥位の傷病者の体位変換が可能な機能を有すること。

なお、メインストレッチャー及び付属品の仕様は、別表詳細No.3のとおりとする。

- (2) サブストレッチャーは、スクープストレッチャー、バックボード及びレスキューシートとする。なお、サブストレッチャー及び付属品の仕様は別表詳細No.3のとおりとする。

2 消火器

粉末ABC6型を1本積載し、緊急時に容易に使用できるよう固定すること。

第6 艀装

- 1 床面の防水処理
患者室フロア全面は、水洗いが可能な構造とすること。
- 2 ストレッチャー積載架台
 - (1) 患者室にストレッチャー積載架台装置を取り付けること。なお、積載架台装置は、メンテナンスフリーで、かつ左右にスライド固定ができ、磁気ダンパーにより揺れを十分に吸収できる構造であること。また、ストレッチャーの搬入が容易にできるようにスロープを設けること。
- 3 保育器固定装置
固定用ベルト・フック付きとすること。
- 4 搬送用資機材専用収納固定装置
 - (1) スクープストレッチャー及びバックボードが容易に収納できる構造とし、落下を防止するための固定装置を設けること。また、積載時、接触する箇所には緩衝のためのゴム板等を取り付けること。
 - (2) サブストレッチャーを収納する場所には、固定装置を設けること。また、積載時、他の物品等と接触する箇所には緩衝のためのゴム板等を取り付けること。
- 5 地図入れ
運転席後部に地図入れ（A 3 サイズ）を取り付けること。
- 6 収納庫
助手席後部にパーティションボードを取り付け、手洗装置は、1 段収納庫に改造し、上部は自動式心臓マッサージ器を固定するスペースを設け、固定ベルトを取り付けること。
なお、パーティションボードに充電ケーブル用の穴を設け、自動式心臓マッサージ器を固定したまま充電できるようにすること。
- 7 運転席後部縦型収納庫内棚板（3 段）
運転席後部縦型収納庫の中に、高さ調整可能な棚板 3 段を取り付けること。
なお、収納庫扉裏面にネットを取り付けること。
- 8 資機材収納ボックス及び固定装置
 - (1) 患者室のルーフサイドに救急資機材等を収納するボックスを 4 か所取り付けること。
なお、1 か所は施錠できるものとすること。
 - (2) 収納ボックスには、脱落防止のため、全てロック付きの扉及び緩衝材を取り付けること。
 - (3) 収納ボックスの形状等細部について積載状態により器具等の損傷が予想される部分には損傷防止対策を施すこと。
- 9 レントゲンフィルム等収納庫
患者室縦型収納庫扉の前側部分にレントゲンフィルム等の収納庫及び予備の吸引

カテーテルを収納できる袋を取り付けること。

10 大型収納庫

患者室右後に大型の収納庫を取り付けること。

なお、収納庫の扉は処置トレイとして使用できる構造とすること。

11 3 段式収納庫

酸素ボンベ収納庫上に 3 段式の収納庫を取り付けること。

12 固定装置及び電源配線

除細動器・人工呼吸器・吸引器・ベットサイドモニターの固定装置を設け、電源を必要とするものについては、活動の妨げにならないよう電源に接続できるようにすること。

13 点滴ビン固定装置

患者室ルーフ部に、点滴ビン固定装置（2 本以上）を取り付けること。ただし、使用時以外に支障となる場合は、折り畳み又は移動ができる構造とすること。

14 消火器移設固定装置

助手席後部の消火器を移設し、A V M 端末を設置できるスペースを確保すること。

15 患者室 L E D 照明

(1) 車内の照明は、傷病者の症状及び隊員の業務遂行に支障のない照度を有するものとする。

(2) 患者室の照明は L E D とし、照度調整が出来ること。

16 調光式患者灯

患者室に患者灯（角度調整式）を 3 か所取り付け、患者室で点灯できる構造とし、取付位置については、次のとおりとすること。

(1) メインストレッチャー頭部付近天井 2 か所

(2) バックドア内側上部 1 か所

17 冷暖房装置

前席及び患者室が同時に冷暖房できる冷暖房装置を取り付け、操作スイッチは前席中央パネル及び患者室に設けること。ただし、患者室に設ける操作スイッチの取付位置は組合と協議し決定すること。

なお、冷暖房吹出口は、メインストレッチャー頭部付近の患者に直接影響のない位置に取り付けること。

18 換気装置

患者室右側後部に、カバー付きの強制換気装置を取り付けること。

なお、スイッチの位置等については、組合と協議し決定すること。

19 手摺り

走行中の安全確保を図るため、患者室右側面に 2 か所及びルーフ中央部に 2 か所ステンレス製パイプ手摺りを設けること。

20 ストレッチャー積載架台側方座席

ストレッチャー積載架台装置の側方に前向き 1 人掛（ハイバック式）及び横向き 2 人掛の座席を設けること。また、ストレッチャー架台装置と座席との空間は、隊員の業務遂行に支障がない間隔を有すること。

21 ストレッチャー頭部側隊員席

ストレッチャー積載架台装置の頭部側に 1 人掛（跳上げ式）を設け、患者観察・資機材操作等が容易に行える構造とすること。

22 窓ガラス等

(1) 患者室のウインドガラス全面を、プライバシーガラス及びフィルム貼りとすること。

(2) 患者室右側面内側に白色フィルムを貼ること。

なお、車外からは車内が透視できないものであること。

23 カーテン等

患者室窓及び前席との間仕切りにカーテン（布、遮光タイプ）を取り付けること。

なお、後部については電動式とし、スイッチについては、組合と協議し決定すること。

24 バッテリーボックス

バッテリー交換を容易にするボックスを設けること。

25 電子サイレン

(1) サイレンは、「救急自動車に備えるサイレンの音色の変更について」（昭和 45 年消防第 337 号通知）の「救急自動車に備える電子サイレンの概要」に適合するものであること。

(2) 電子サイレンのアンプは、ピーポー音とサイレン音が切り替え吹鳴する構造とすること。

(3) センターメーター運転席付近及び助手席足元付近にスイッチを設け、ピーポー音とサイレン音が切り替え吹鳴できる構造とすること。

26 赤色警光灯

(1) 赤色警光灯は、キャブルーフ上前端寄りに、散光式赤色警光灯（LED）を取り付け、散光式赤色警光灯内の左右に LED の赤色点滅灯を増設し取り付けること。

ただし、各種配線は、台座内を通線するとともに、スピーカーは、前方向に取り付けること。

(2) ルーフサイド後部左右に散光式赤色警光灯（LED）を取り付けること。

(3) フロントバンパー上部に側方からも視認できる赤色点滅灯（LED）を 2 基取り付けること。

なお、点灯操作は、散光式赤色警光灯（LED）と同一操作により点灯する構造とすること。

(4) 緊急走行中に各種音声スイッチまたはパーキングブレーキに連動して自動的に発光パターンが変化すること。

(5) 赤色警光灯等スイッチの取り付け位置は、組合と協議し決定すること。

27 酸素吸入器

(1) サイドドア直近にアルミ 9.4 リットル酸素ボンベ 2 本の収納固定装置を設け、減圧弁が患者室から容易に操作でき、圧力計の視認が可能な構造とすること。

(2) ボンベの固定は、受け台及びワンタッチベルト、フック付きとすること。

(3) 酸素吸入器は、加湿流量計付き酸素吸入装置（オキシパック型）とし、その配管は次のとおりとすること。

ア アルミ 9.4 リットル酸素ボンベ（無充填・バルブは、ニードル 9 号ツマミ付き）2 本を固定し、減圧弁（LSP ヨーク型プロテクター付き、予備パッキン 20 枚付き）をそれぞれ取り付けること。

イ 減圧弁から高圧ホースにより三方チーズに接続し、三方チーズからホース 1 本で加湿流量計に接続すること。

ウ 減圧弁と三方チーズの接続及び加湿流量計からデマンドバルブが使用可能なワンタッチジャックは、ジュンロン型にすること。

エ 加湿流量計は 2 連式とし、2 名が同時に使用できる構造とするとともに、ベンチレーター用接続口を 1 口設け、ベンチレーターまで配管すること。

オ 酸素配管は、主として内板等の内側に配管し、患者室に露出しない構造とすること。

カ 酸素吸入装置の加湿流量計は、ストレッチャー患者頭部上の若干前方寄り垂直になるように台座を設け取り付けること。（必ず耐圧テストを実施すること。）
また、ボトル等の破損を防止するため、カバー付きとし、カバーは取り外しができるものとする。

(4) 患者室に人工呼吸器専用の酸素配管をすること。

なお、設置場所については組合と協議すること。

28 名称等の表示

(1) 左右サイドドア上段に、左書文字等間隔で「草加八潮消防局」と表示すること。
また、上記表記下段に左書文字で「SOKA YASHIO FIRE BUREAU」と表示すること。

なお、「草加八潮消防局」及び「SOKA YASHIO FIRE BUREAU」の大きさについては組合と協議すること。

(2) バックドアのナンバープレート上部に、左書文字等間隔で「草加八潮消防局」と表示すること。

なお、大きさは 90mm 角とすること。

(3) ボンネット、左右側面後方側下側及びリアゲートに記入する所属文字を表示し、

大きさは80mm角とすること。

- (4) 左右ルーフ下部上段に左書文字で「EMERGENCY」、下段に「MEDICAL SERVICE」と表記し、大きさについては組合と協議し決定すること。
- (5) リアゲート所属文字下段に三桁の数字を表示すること。
なお、表示する数字については組合に確認すること。
- (6) 車両の天井文字として車両屋根部分に表示すること。表示文字については、組合と協議すること。
- (7) 車体全周に巾7cmの赤色テープを貼り付けること。
なお、ボンネット部及び前フェンダー部を除いた部分は、再帰性に富んだ赤色反射テープを貼り付けること。
- (8) その他組合が指定する場所に再帰性に富む反射材を貼付すること。
なお、色や幅は組合と協議し決定すること。
- (9) その他の文字表示（デザイン）については、別途組合と協議すること。

29 塗装

外装塗装は、板金完了ボディーに完全防錆処理を行い、その工程は確実に剥離ひび割れ等が発生しないようホワイト色の焼付塗装を施すこと。

30 その他

- (1) 車体は、全有蓋で密閉式構造であること。
- (2) バックドアは、フルオープンの上跳式とし、開口部は、活動時に有効な高さを確保すること。
- (3) 天井は、断熱性及び遮音性を考慮するとともに、外板、内板の二重構造と、ルーフ上の取付品の保守が容易な構造とすること。
- (4) 電気配線のうち露出するものについては、ビニールパイプで被覆、適宜にクランプし、走行振動等により摺動、断線故障の恐れのないよう施すこと。
なお、結線については、防水処理に留意すること。
- (5) 患者室は、ベッドの両側の空間、ベッド頭部側の座席とベッドとの間の空間及び室内高が、業務の遂行に支障のないものであること。
- (6) 仰臥位の傷病者の体位変換が可能な機能を有すること。
- (7) 前席と患者室は、常時行き来ができる構造とすること。
- (8) 車体後部は、ストレッチャーによる搬入が容易に行われる構造とすること。
- (9) 各種器具の固定は、走行振動等により脱落しないよう強固に取り付け、走行振動により異音が発生しない構造とすること。
- (10) 患者室等に固定する資機材等のために、内張内に有効な補強を施すこと。
- (11) 酸素ボンベには、「F307」の刻印を打刻すること。
- (12) 自動車登録番号は、組合の指定するものとすること。
- (13) 車両の納車後に、組合が所有する救急自動車の廃車手続の内容については、一時

抹消登録又は永久抹消登録とする。また、更新車両の新規登録及び令和7年度更新対象車両の廃車手続等（車両の解体を含む。）に関わる細部については、組合と打ち合わせの上決定すること。

なお、その費用は受注者において負担するものとする。

- (14) 車両の取扱い要領及び救急資機材の取扱いについては、各専門業者による指導を受注者の責任において実施すること。
- (15) 車両に積載及び装備する医療用具等は、車両を納入する直前に医療用具等の取り付け及び接続を確実にした上で、車両に搭載し速やかに納入すること。
- (16) 救急資機材を取り付けるに当たり、ブラケット等が必要な場合には受注者負担で取り付けを行うこと。

第7 移設等

1 移設機器

次に示すものは、組合が指定する既存車両間（取外し及び取り付け作業をそれぞれ2回行うもの。）で移設を行うこと。

- (1) 車両運用端末装置（A V M）
- (2) デジタル無線機
- (3) 現場急行支援システム（F A S T）

2 移設作業

取付金具や移設に必要なアンテナ及び配線等は新品とすることとし、既存物品を使用する場合には事前に組合と協議すること。また、移設機器の取り付けについては、取付位置、雑音防止、配線の保護等に考慮し、組合と協議の上取り付け、納車日までに完了すること。

なお、移設に関わる細部については、組合と打ち合わせの上決定し、その費用及び関係法令等による必要な手続は受注者において負担するものとする。

第8 その他

- 1 受注者は、車両の製作に先立ち組合と製作上の細部にわたり十分な協議をした上で艤装を行うこと。
- 2 業務上知り得た事項を漏らしてはならない。
- 3 不当要求等に関し、次の事項を遵守すること。
 - (1) 受注者及び受注者の下請け業者が、不当要求行為を受けた場合又は不当要求行為による被害を受けた場合若しくは被害が発生するおそれがある場合は、管理者に報告するとともに、所轄の警察署に通報すること。
 - (2) 受注者は、組合及び所轄の警察署と協力し、不当要求行為の排除対策を講じること。

4 問合せ先

埼玉県草加市神明二丁目2番2号

草加八潮消防組合 草加八潮消防局警防課 救急係

TEL 048-924-0967

FAX 048-928-8454

令和 7 年度高規格救急自動車 別表

No.	品 名	数 量	備 考
1	高規格救急自動車（車両）	1 台	
2	高規格救急自動車（取付品）	1 式	
3	高規格救急自動車（積載物品及び艀装）	1 式	
4	移設物品（A V M ・ デジタル無線機 ・ F A S T ）	1 式	

別表詳細

No. 1 高規格救急自動車（車両）

No.	品 名	仕様・型式・形状	数 量	備 考
1	高規格救急自動車（車両）		1 式	救急業務実施基準（昭和39年3月3日自消甲教発第6号通知）第9条1に示す乗車人数に適合するものであること。

別表詳細

No. 2 高規格救急自動車（取付品）

No.	品 名	仕様・型式・形状	数 量	備 考
1	デジタルインナーミラー	メーカー仕様	1 式	
2	ラジオ及びデジタル時計	メーカー仕様	1 式	
3	助手席用インナーミラー	メーカー仕様	1 式	
4	フロントアンダーミラー 助手席アウトサイドミラー	メーカー仕様	1 式	
5	フロントドアサイドバイザー	大型のもの	1 式	
6	ラジアルタイヤ（スペアタイヤ含む）	メーカー仕様	1 式	
7	電流計及び電圧計（照明付き）	メーカー仕様	1 式	
8	半ドア警告灯（全ドア）	メーカー仕様	1 式	
9	半ドア防止装置 （サイドドア及びバックドア）	メーカー仕様	1 式	

No.	品 名	仕様・型式・形状	数 量	備 考
1 0	C型フック	3 か所（前席）、設置個数協議（患者室）	1 式	
1 1	L E Dヘッドライト	自動角度調整機能付き オートマチックハイビーム機能付き	1 式	
1 2	L E D後輪照明灯	スモールライト連動かつ専用スイッチ付き	1 式	
1 3	L E D作業灯（補助赤色警光灯付き）	小糸製作所製又は同等以上の機能を有する物 左右ルーフサイド独立専用スイッチ付き	1 式	
1 4	救助用工具（固定用器具付き）	万能オノ、バール、シートベルトカッター ガラスカッター、ボルトクリッパ	1 式	
1 5	消防章	φ 1 5 0 mm	1 式	
1 6	排気管車両右側タイヤ後方出し	メーカー仕様	1 式	
1 7	リアワイパー及び熱線式デフォグガー	メーカー仕様	1 式	
1 8	バックドア開口部左側グリップ及び 左側下部グリップ	メーカー仕様	1 式	
1 9	インバーター	患者室に1 0 0 V、2 9 9 W以上かつエンジン稼動時、車内設置の各コンセントに電力を供給できるもの	1 式	
2 0	外部入力マグネット式コンセント （入力時エンジンカット仕様）	外部商用AC 1 0 0 V電源自動切替改造の上 車内の各AC 1 0 0 Vコンセント及びDC 1 2 Vコンセントに電源を供給できるもの	1 式	
2 1	1 0 0 Vコンセント（壁面蓋付き）	8 口（患者室右前壁面2 口、患者室右側面4 口、患者室右後壁面2 口）	1 式	
2 2	1 0 0 Vコンセント・A V M用電源端子	2 口（前席）、A V M用電源端子1 口（前席）	1 式	

No.	品 名	仕様・型式・形状	数 量	備 考
2 3	1 2 V用コンセント (シガライター型コンセント)	1 口 (前席 1 口)	1 式	
2 4	U S B 電源ポート	2 口 (患者室)	1 式	
2 5	盗難防止装置	メーカー仕様	1 式	
2 6	安全装置	前向座席 3 点式シートベルト、ヘッドレスト 横向後向座席 2 点式シートベルト	1 式	
2 7	L E D ランプ	助手席上方部	1 式	
2 8	拡声用フレキシブルマイク	運転席ドア上方部	1 式	
2 9	サイドフラッシャーランプ	メーカー仕様	1 式	
3 0	左右フロントドア下部ステップアルミ縞板	縞板滑り止め付き	1 式	
3 1	サイドドアステップアルミ縞板 アルミ筋板 ステップ専用ランプ (ドア開閉連動)	縞板滑り止め付き	1 式	
3 2	リアバンパー乗降用ステップ兼用アルミ 縞板製プロテクター	縞板滑り止め付き	1 式	
3 3	木製書類入れ (A 3 サイズ蓋付き)	運転席と助手席の間	1 式	
3 4	グローブボックス固定及びネット式小物 入れ (2 か所)	運転席と助手席上方部	1 式	
3 5	助手席後部パーティション	メーカー仕様	1 式	
3 6	名称プレート	各作動スイッチ等	1 式	
3 7	患者室天井部ネット式副子入れ	3 か所以上	1 式	

No.	品 名	仕様・型式・形状	数 量	備 考
3 8	ヒューズボックス	インバーター庫付近	1 式	
3 9	温度計及び湿度計	患者室内	1 式	
4 0	デジタル式電波時計	患者室内	1 式	
4 1	冷温蔵庫	患者室内	1 式	
4 2	ドアエッジモール（フロントドア）	メーカー仕様	1 式	
4 3	左右フロントフェンダー部滑り止め	メーカー仕様	1 式	
4 4	スタッドレスタイヤ	ホイール付き	4 本	
4 5	メインキー・スペアキー	メインキー及びスペアキー （メインキーはワイヤレスドアロック付き）	各 3 本	
4 6	予備球・予備ヒューズ	ヘッドライト及び患者室蛍光灯を除く	各 1 0 個	
4 7	フロアマット（運転席・助手席用）	メーカー仕様	1 式	
4 8	旗立て	ステンレス製	1 式	
4 9	救命浮環	ライフボール又は、マリンポーチ	1 個	
5 0	左右コーナーセンサー	フロントバンパー左右取付け	1 式	
5 1	エアフィルター	リアクーラー空気吸入口	1 式	
5 2	バックガイドモニター	ステアリング連動ガイド線付き	1 式	

No.	品 名	仕様・型式・形状	数 量	備 考
5 3	ナビゲーションシステム	メーカー純正SD 全周囲監視モニター及びバックガイドモニター連動 地上デジタルフルセグ対応TVチューナー搭載	1 式	
5 4	ホワイトボード（A3サイズ）	マグネット対応型、黒ペン（ラーフル付き） 2本、ペン立て	1 式	
5 5	グローブボックス固定ベルト	4か所（うち2か所はマグネット式）	1 式	
5 6	血圧計	車両固定式ウォール型アナロイド血圧計 （カフ・マンシエット含む）	1 式	
5 7	ドライブレコーダー	メーカー仕様	1 式	
5 8	牽引ロープ	4トン用ナイロン製	1 式	
5 9	タイヤストッパー	樹脂製ロープ付き	1 式	
6 0	交通誘導灯	乾電池式（LED灯）	1 式	

別表詳細

No.3 高規格救急自動車（積載物品及び艤装）

【積載物品】

No.	品 名	仕様・型式・形状	数 量	備 考
1	メインストレッチャー	ファerno製モデル9304スカッドメイト及び付属品（マットレス、バイオセーフストラップクリップ付きメタルバックル2本、サイドアームプレートモデル160-1、サイドアームプレートカバー左右用ガードル架キット及び枕）または同等品	1 式	救急業務実施基準（昭和39年3月3日自消甲教発第6号通知）第9条3イに示す大きさに適合すること。
	サブストレッチャー	ファerno製スクープストレッチャー（モデル65EXLピン付き）及びヘッドイモビライザーモデル445-SP 1個または同等品	1 式	
		ファerno製ハイテクバックボード（2010）及び付属品（ヘッドイモビライザーモデル445 1個及びバックボードストラップバイオセーフストラップクリップ付メタルバックル6本）または同等品	1 式	
		ファerno製レスキューシートモデル44または同等品	1 式	
2	消火器	粉末ABC6型	1 式	

【艤装】

No.	品 名	仕様・型式・形状	数 量	備 考
1	床面の防水処理	メーカー仕様	1 式	
2	ストレッチャー積載架台装置	メンテナンスフリー磁気ダンパースイング式	1 式	
3	保育器固定装置 （固定用ベルト・フック付き）	メーカー仕様	1 式	

No.	品 名	仕様・型式・形状	数 量	備 考
4	搬送用資機材専用収納固定装置	スクープストレッチャー及び バックボード用（緩衝用ゴム板取り付け）	1 式	
5	地図入れ	A 3 サイズ	1 式	
6	収納庫 （手洗装置から改造及びLUCAS3固定装置）	メーカー仕様	1 式	
7	運転席後部縦型収納庫内棚板（3 段）	メーカー仕様 ネット取付（収納庫扉裏）	1 式	
8	資機材収納ボックス	メーカー仕様（施錠装置付き）	1 式	
9	レントゲンフィルム等収納庫	メーカー仕様	1 式	
1 0	大型収納庫	メーカー仕様（扉は処置トレイ兼用できるもの）	1 式	
1 1	3 段式収納庫	酸素ボンベ収納庫上	1 式	
1 2	固定装置及び電源配線	除細動器・人工呼吸器・吸引器・ベッドサイド モニター	1 式	
1 3	点滴ビン固定装置	患者室ルーフ（2 本以上）	1 式	
1 4	消火器移設固定装置	メーカー仕様	1 式	
1 5	患者室 L E D 照明	照度調整機能付き	1 式	
1 6	調光式患者灯	3 か所	1 式	
1 7	冷暖房装置	メーカー仕様	1 式	

No.	品 名	仕様・型式・形状	数 量	備 考
1 8	換気装置	メーカー仕様	1 式	
1 9	手摺り	右側面×2・ルーフ中央×2	1 式	
2 0	ストレッチャー積載架台側方座席	前向き1人掛（ハイバック式）・横向き2人掛	1 式	
2 1	ストレッチャー頭部側隊員席	1人掛（跳上げ式）	1 式	
2 2	患者室プライバシーガラス・フィルム貼り及び患者室右側面内側白色フィルム貼り	メーカー仕様	1 式	
2 3	室内間仕切りカーテン・サイドカーテン・リア電動カーテン	メーカー仕様	1 式	
2 4	バッテリーボックス	メーカー仕様	1 式	
2 5	電子サイレン	パトライト製又は大阪サイレン製音声合成装置 内蔵アンプ マイク及びサイレン切り替えスイッチ付き	1 式	
2 6	赤色警光灯	パトライト製又は大阪サイレン製若しくは、小糸製フロント、ルーフサイド大型散光式（LED）	1 式	
2 7	酸素吸入器	加湿流量計及び減圧弁他（オキシパック型） 9．4L酸素ボンベ2本	1 式	
2 8	名称等の表示	消防局名称及び各種ライン等（反射材を含む）	1 式	

別表詳細

No.4 移設物品

No.	品 名	仕様・型式・形状	数 量	備 考
1	車両運用端末装置（A V M）	組合が指定する既存車両間（取外し及び取付け作業をそれぞれ2回行うもの。）で移設を行う	1 式	
2	デジタル無線機	組合が指定する既存車両間（取外し及び取付け作業をそれぞれ2回行うもの。）で移設を行う	1 式	
3	現場急行支援システム（F A S T）	組合が指定する既存車両間（取外し及び取付け作業をそれぞれ2回行うもの。）で移設を行う	1 式	移設にあつては、1台分とする。